

ある日の育児日記から

(99)

佐藤 和代



有がこの頃、あやとりにこっています。圭はあやとりが大好きで、年長さんの頃「あやとり名人」と言われたほどでしたけど、有は男の子だしやらないだろう…と思いついで、教えもしなかったのです。それなのに、いつの間にか自分で本を見て覚えて、私の知らないものまで作れるようになってしまいました。

あやとりって、いいですね。ひも一本で遊べるので、電車の中のみまつぶしに最適。ひまがつぶれるだけではなく、圭や有が小さい手でひもをあやつっていると、よく、なつかしそうに見えてい

る年配の女性がいるのです。長距離の電車では「今はそうやってやるのねえ。おばさんの頃は違ったのよ」と話しかけられたりします。しばし知らないおばさんと一緒にあやとり遊び。退屈しないで、ついでにおにぎりやみかんをいただいたりして、親は大助かり。ゲームボーイではこうはいかないわよ。

ところであやとりの覚え方も、性格の差が出てくるものです。圭は誰にでも「教えて」とまとわりついて覚え、有は本と首っ引きで。有のあやとりは、説明書を見ながらプラモデルを組み立てているときのようです。笑ってしまいます。こいつ、マニュアル読んでから家電使うタイプだ…。



こういうオリジナリもある。